



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2020年 2月29日 No.243

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM

Community Museum
地域の宝 学校の宝

むかし ぎじゅつ いま つた ぞんざい くだこうべんけいごう ティー
昔の技術を今に伝える存在「下工弁慶号」「D 51」

みなさんは、「**鉄道**」をよく利用しますか。県内各地を結ぶ交通手段の一つで、
 地域の人々の「**生活の足**」としても欠かせない存在ですね。今月出前授業を行っ
 た、**下松市立米川小学校**のある下松市は、古くから**鉄道車両**
の生産が盛んな町です。そんな下松市の市役所と笠戸島には、
 何とも**趣**のある蒸気機関車が展示してあります。なっとくん
 と見に行ってきました。いろんな発見もありましたよ。

下工弁慶号・D51



この蒸気機関車は「**下工弁慶号**」と呼ばれ、「ものづくりのまち」下松市で昔の
 技術を知る資料として大切にされているんだって。この機関車は、1907（明治
 40）年に石川島造船所で製造後、**徳山海軍練炭製造所で使用**されていたもので、
 その後、山口県立下松工業学校（**現在の下松工業高等学校**）が譲り受け、**原動機**
実習教材として活用されたそうです。また笠戸島には、**日立**
製作所笠戸工場で製造された「**D 51型式592号機関車**」が、
 海を臨む高台に展示してあったよ！この機関車は**主に山陽本線**
 を30年以上にわたって走り、引退までに走った距離は**地球約**
50周分にもなるんだって！今は新幹線
 車両の製造で知られる下松だけど、その
技術はずっと**昔**から**受け継がれた**
ものなんだね。

マンホールのふたに



下工弁慶号

